点灯順序

リモコンのボタンを押すことにより、次の点灯順序となります。

（2 灯 全 灯）→（2灯調光点灯）→（保 安 球 点 灯）→（消　　　灯）

壁スイッチコントロール機能（ワンタッチスイッチ機能）について

壁スイッチですばやく（約２秒以内）OFF → ON することにより、次のように点灯順序が切り替わります。

※壁スイッチをOFFにすると、どの点灯状態でも消灯します。

使用上のご注意

この器具は、FHC27、FHC34専用器具です。従来のFCL30、FCL32、FCL40は使用できません。

■本器を分解したり、改造しないでください。
火災などの原因になります。

■精密機器のため落下などの衝撃を加えないでください。

■壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても作動しません。
壁スイッチON及び停電復帰後は、全灯状態になります。

■点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがあります。

■ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。

■本器具に添付のリモコン送信機は、当社リモコン照明器具専用です。
リモコン式テレビなどには使用できません。
また、テレビやビデオのリモコン送信機では、照明器具は作動しません。

■器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されますと、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。

■本器具をご使用中あるいはリモコン送信機で消灯させた状態で停電した場合、停電から復帰したときは全灯状態となります。
長期間のお出かけの際には、壁スイッチで電源を切ってください。

■この器具はリモコンスイッチで消灯してもリモコン部の回路が約1.0Wの電力を消費しておりますので、節電のために長期外出時には壁スイッチを切ってください。

■リモコン送信機は器具に向けて操作してください。
リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、器具が作動しませんので、しゃへい物を取除いて再度ボタンを押してください。

■照明器具にリモコンの信号が届く範囲でご使用ください。
＊部屋の湿度によっては、リモコンが動作しづらいことがあります。

■天井や、壁、床の色や材質によってはリモコンが動作しづらいことがあります。

■乾電池の寿命は、マンガン乾電池１日10回使用の場合で約６ヶ月です。（目安）

■ニッカド電池などの充電式乾電池は使用できません。

■乾電池は、単３形乾電池をご使用ください。

■乾電池は、＋・−の極性を正しく入れてください。

■シンナー・ベンジンなどの揮発性のものやアルカリ系洗剤などを使用して本体を拭かないでください。
外郭強度の低下、変色、故障の原因になります。

器具のはずしかた

ランプ交換の際は、NEC蛍光ランプ・ホタルックスリムをご指定ください。

必ず電源を切って本体やランプが冷えてから行ってください。

■カバーの外しかた
カバーを左に回してください。

カバーは無理にはずさないでください。カバーの割れ、落下によるけがの原因となります。

■ランプの取り付け、取り外し

消灯直後は高温になっていますので注意ください。

ランプソケット又はインバータケースの表示に従ってランプを取り付けてください。
ランプの口金は、多少動くようになっておりますが無理に回さないでください。
ランプ交換の際は、ランプホルダーで強く弾かないでください。

■電源の外しかた
右図のようにコネクタの矢印部分を押しながらコネクタを引き抜いてください。

コネクタ　押す

■本体の外しかた
本体中央部のレバーを矢印方向へ引いてください。

■アダプタの外しかた
アダプタの赤いボタンを押しながら矢印方向に回してください。

注意　※ボタンを押さずに回すと引掛シーリングが破損します。

スリム形蛍光ランプの特徴

器具に添付していますスリム形蛍光ランプ(FHC＝高周波点灯専用環形蛍光ランプ)は、次のような特徴があります。

◎ＦＨＣは、ガラス管径16㎜スリムで、省資源・省スペースおよび、器具の薄型化を可能にした、長寿命な蛍光ランプです。

◎このランプは、発光効率を向上させるために、片側の電極(ランプマークが表示されていない側)に通常より背の高い特殊な電極を採用しています。このためランプマークが表示されている側より、ランプ点灯時の影で若干暗くなっています。

◎ランプ点灯初期に、明るくなるまで少し時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。
約10分程度で明るくなります。

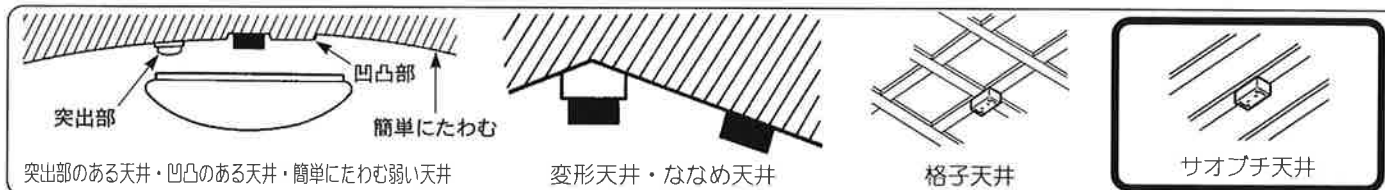
364−807　9LKZ 説明書（サオ）RL50

NEC 照明器具

保証書添付　保 存 用　**取扱説明書**

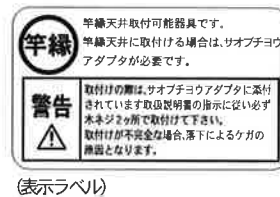
●このたびはNEC照明器具をお買い上げくださいましてありがとうございます。
●取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。
●取付工事が終わりましたら、この説明書は、ご使用になるお客様が保管してください。

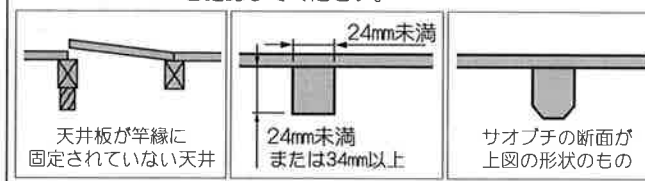
取り付けできない天井

火災・感電・落下によるけがの原因となります。

注意　天井についている引掛シーリングの形状によって取り付けできない場合がありますので裏面の「天井の引掛シーリングを確認する」に従って確認してください。

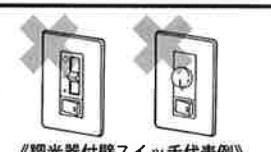
〈 サオブチ天井に取り付ける場合 〉

本体に図のような表示ラベルが貼ってある器具については別売のサオブチヨウアダプタ(699-9869)を使用していただくことで取付可能となります。
取付方法については、サオブチヨウアダプタに添付している取扱説明書に従い確実に取り付けてください。
木ネジ２本で取り付ける方法の為、天井に穴があきますのでご注意ください。

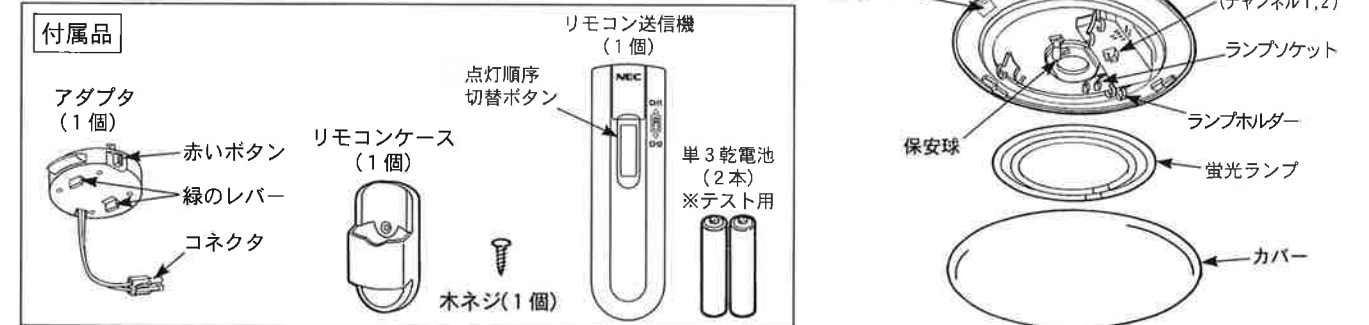
（表示ラベル）

要チェック　下記のサオブチ天井では使用できませんので必ずサオブチヨウアダプタを購入する前に天井の状態を確認してください。

天井板が竿縁に固定されていない天井　｜　24㎜未満 または34㎜以上（24㎜未満）　｜　サオブチの断面が上図の形状のもの

取付上のご注意

壁付調光器のある回路では使用しないでください。

注意　本器具を取り付ける電源回路（壁スイッチ等）に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。
右図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。
（調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。）

《調光器付壁スイッチ代表例》

各部の名称

この図は一部省略抽象化した共通部品図です。
機種によってカバー形状が異なる機種もあります

定　格

形　　式	定格電圧	定格周波数	定格消費電力	使用蛍光ランプ	使用保安球	始動方法
27形 + 34形 (弊社形式：9LKZ＊＊＊)	AC100V	50Hz / 60Hz	71W	FHC27 FHC34	E12なつめ球 (5Wまで)	インバータ式

NECライティング株式会社

東京都港区芝1-7-17
〒105-0014　http://www.nelt.co.jp/

<お客様相談室>
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間　平日9:00〜12:00　13:00〜18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX. 03-6746-1521

※この紙は再生紙を使用しています

器具の取付方法

器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行って下さい。

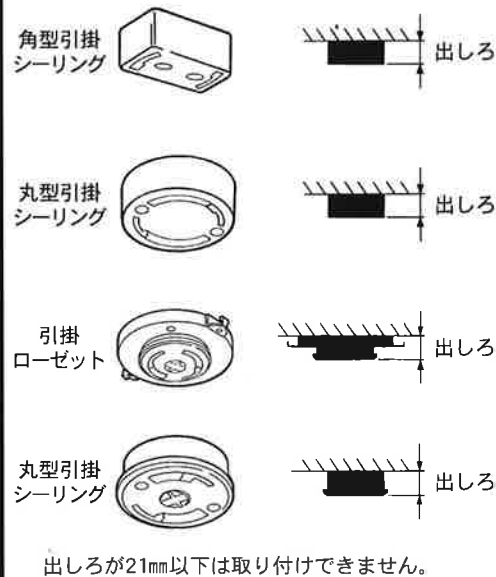
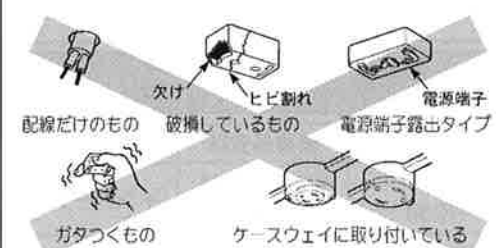
1. 天井の引掛シーリングを確認する

取り付け可能な引掛シーリング

・下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。
（ガタつきや破損がないことを確認して下さい。）

引掛シーリングの形状によって取付方法が異なります。

出しろが21mm以下は取り付けできません。

出しろが10mm以下は取付できません。

取り付けできない引掛シーリング

取り付けするする際は、必ず上図の取り付け可能な引掛シーリングに交換して下さい。
交換には電気工事士の資格が必要です。
交換工事は必ず電気工事店に依頼して下さい。

（引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井には取り付けないで下さい。器具が落下する恐れがあります。）

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

⚠警告

落下のおそれあり

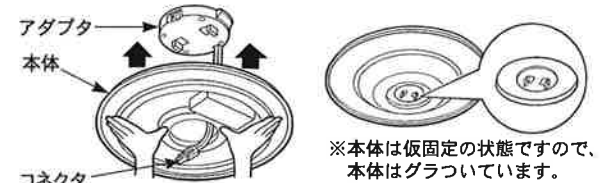
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 本体を取り付ける

①ランプがランプソケットに確実に差し込まれていることを確認してください。
不十分な場合、ランプが点灯しない場合がありますので確実に差し込んでください。

②１段押上げ（仮固定）

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

※本体は仮固定の状態ですので、本体はグラつ. いています。

⚠警告 まだ本体の取り付けは不完全です。
この状態のまま使用すると、落下によるけがの原因となります。

①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見え、アダプタのツメ(2ヶ所)が完全に出ていることを確認する。
②本体のグラつきがないことを確認する。

これで本体の取り付けは完了です。

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

⚠警告

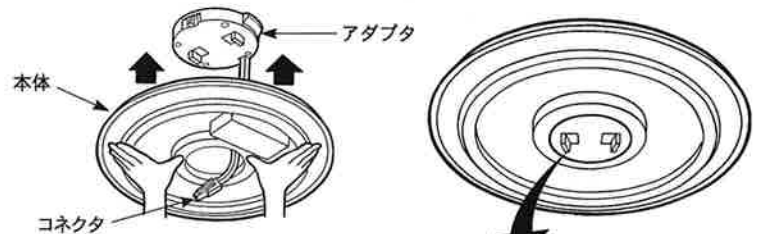
落下のおそれあり

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 本体を取り付ける

①ランプがランプソケットに確実に差し込まれていることを確認してください。
不十分な場合、ランプが点灯しない場合がありますので確実に差し込んでください。

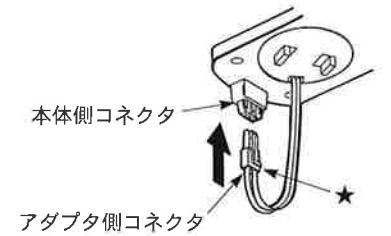
②１段押上げ（取付完了）

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見えていることを確認する。
②本体のグラつきがないことを確認する。

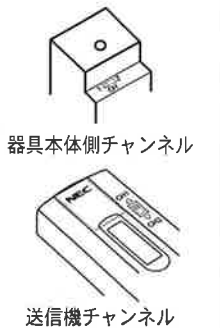
これで本体の取り付けは完了です。

4. 電源を接続する

アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込んでください。

★の部分を押さえずに、アダプタ側コネクタを引っ張り、コネクタが抜けないことを確認してください。

5. チャンネルを設定する

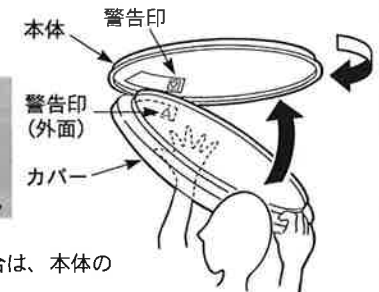
■１台のみ操作する場合

器具本体側のチャンネルとリモコン送信器チャンネルを同じチャンネルに合わせてください。
（出荷時のチャンネルは、器具本体側・リモコン送信器共、チャンネル１に設定しています。）

■２台の器具を別々に操作する場合
（１つのリモコン送信器で２台の器具を別々に操作することができます。）

１台目の器具本体側チャンネルを「１」、もう１台の器具本体側のチャンネルを「２」に合わせてください。
リモコン送信器のチャンネルを操作したい方の器具のチャンネルに合わせ、器具を操作してください。

6. カバーを取り付ける

重要ポイント

本体の警告印（⚠）にカバーの警告印（⚠）を合わせカバーを持ち上げパチンと音がするまでカバーを右にまわしてください。

カバー取り付け時に本体が回転してしまう場合は、本体の取り付け(押し上げ)が不十分です。
「３. 本体を取り付ける」に従って、本体の取り付け(押し上げ)を確認してください。

⚠警告 落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

7. リモコン送信機に乾電池を入れる

カバーを軽く押しながら手前に引いて外して下さい。
乾電池の極性⊕⊖を間違えないように入れて、カバーを閉めてください。
リモコン送信機の平均電池寿命は、１日10回使用した場合、約１年間です。
電池交換の際は、必ず２本とも交換してください。
（使用電池は単３形）

リモコンホルダーを壁等に取り付ける場合

付属の木ネジでしっかり壁等に取り付けてください。
リモコンホルダーに入れたままリモコン操作を行うと動作しない場合があります。
その場合はリモコンホルダーからリモコンを取り出し、器具の方へ向けて操作してください。